

JSAF 外洋東海第 91 回理事会・第 47 回代議員会・第 39 回通常総会議事録

1. 開催日時 平成 30 年 6 月 1 日（金）午後 6 時 45 分～8 時 00 分

2. 開催場所 愛知県スポーツ会館 第 1 会議室

3. 出席者

<理事>（本人出席）

坂谷定生、大島茂樹、川合紀行、龍野信人、吉村政治、安井 理
（委任状出席）

林 泰成、稲垣 靖、五藤 敏、高島 真、池本展宏、中村 孝
定足数 11 出席数 12（成立）

<代議員>（本人出席）

岩瀬喜貞、龍野信人、安井 理、奥田義明
（委任状出席）

稲垣 靖、永井守久 定足数 5 出席者 7（成立）

<会 員>（本人出席）10 （委任状出席）398 定足数 202 出席者数 408（成立）

<監 事> 富川則之

（敬称略）

4. 議 事

定刻になったので坂谷会長議長となり、理事会、代議員会、通常総会の開会を宣す。

議事録署名人に、川合紀行氏、安井 理氏を指名した後、議事に入った。

・理事会報告事項

I. 会長より先の常任委員選挙における結果はHPで公表した旨と、その後の互選による執行部人事について説明があった。会長（坂谷）、副会長（大島）は留任、常務理事は置かず、事務局は当分の間

坂谷、大島が担当。また、平成 30・31 年度の各委員会の役員は添付表のとおり。なお四日市のフリートキャプテンについては前任者が会員資格失っているので空白としているとのことであった。協議したところ帆走委員会において委員に坂口龍哉氏を加えるよう提案があり、全員異議なく決定した。四日市フリートについては会長から四日市に確認し、適任者があればキャプテンとして就任してもらうこととなった。（その後調整の結果水谷節夫氏が就任することとなった。）

II. 委員会報告（レース）

会長から今年のこれまでのレース結果について添付のとおり報告があった。

第 25 回三河湾周遊レース、第 43 回五ヶ所湾合同レース、沖縄-東海ヨットレース 2018

第 32 回エリカカップヨットレース、沖縄-東海ヨットレース前夜祭で挙行了した東京オリンピック応援日本一周フラッグリレーについて

また、日本セーリング連盟においても理事選挙があり、植松副会長、平井理事の退任、東海は坂谷大島理事の留任、関東は新田氏が、内海は中村氏が理事に就任、その他は留任、ただ今回から女性理事を増やすという施策により、外洋からも湘南の作田氏、三崎の橘田氏という二人の女性が理事に就任した。JSAF 全体では女性は 6 人となった。以上報告があった。

・代議員会、通常総会、理事会審議及び報告事項

I. 平成 29 年度事業報告及び収支状況について

3 月 1 日に報告したものに付け加え、それ以降の事業成果についての報告と、前回平成 29 年 11 月までの収支状況以降のものを精査し、平成 30 年 3 月 31 日までの平成 29 年度収支決算報告が添付報告書のとおり会長からあった。

概略は－553,172 円で始まった H29 年度収支は預金残高 4,019,668 円となった。これにはパール積立金と沖縄－東海ヨットレースの残金（H30 年に主な支出がある）が入っているため実質は 45,098 円の黒字決算となった。（前年度赤字は解消）との説明があった。

また、関連事項で財産目録及び友の会の決算についても説明したのち、監査委員の意見を求めたところ監査委員からは適切に処理された旨の報告がなされた。

会長、以上を理事会に対し、代議員会に提案しても良いか伺いを立てたところ、全員異議なく承認されたので、事業報告、収支決算報告について代議員会に諮ったところ、全員異議なく承認された。また友の会決算については出席者全員による友の会総会によって承認された。

以上審議、報告全て終了したので、午後 8 時会長閉会を宣す。

議事録署名人 川合紀行

安井 理